

# 糸あやつり人形劇団「つきみ草」

■事務局所在地：瀬戸内市邑久町尾張 ■代表者氏名：城山 雅恵

## 糸操り人形の技法を後世に継承し広めていく

### 目的

瀬戸内市邑久町出身の世界的な糸操り人形師、竹田喜之助氏（1923-79年）が、情熱を注いだ糸操り人形の技術を後世に継承するとともに、国内外へ糸操り人形の技術や繊細な動きを子供から大人まで広め、喜之助人形により近い人形を制作できるよう努力すること。

### 経過

瀬戸内市邑久町出身の竹田喜之助氏を顕彰して始めた人形劇の祭典「喜之助フェスティバル」の記念すべき10回目に喜之助氏の紹介を糸操り人形劇でしようとは始めました。

毎年このフェスでの上演を楽しみに人形制作に取り組み、また依頼があればどこまでも上演に行っています。この糸操り人形の技術、繊細な動きを日本全国、全世界に伝えられればと数年前チェコ・プラハ市に、また長野県飯田市へと行くチャンスに恵まれ操ってきました。

当初は邑久町出身の人物「竹久夢二」「宇喜多直家」等の幼少からのエピソードを盛り込んで紹介していましたが、現在は「竹取物語」「ごんぎつね」などのいろんなジャンルに取り組んでいます。人形制作については、和人形から洋人形、アクリル絵具から胡粉塗りに挑戦しています。



人形の展示



人形の制作過程

### 成果

竹田喜之助氏の作り出した人形の繊細な動き、技術、作り方を後世に継承していきたいと結成した糸あやつり人形劇団「つきみ草」は、平成19年に満10年を迎えました。

今まで育ててくださった皆さんに感謝して、人形劇のクリスマスプレゼントを行いました。

人形劇の上演（3演目、栃木地方の昔話「お花じぞう」、半生をアミノ酸研究にささげた同市出身古武弥四

郎博士（1879-1968年）の少年時代を取り上げたデビュー作「古武弥四郎物語」、「かぐやひめ」を午前と午後  
の2回公演）や今まで制作した人形の展示、竹田喜之助氏及び私たちの師匠である鈴木友子先生の紹介コーナ  
ーを設け皆さんに観ていただきました。

今回の10周年記念公演で、竹田喜之助氏及び糸操り人形への理解を深めることができ、大勢の方々を支えら  
れていることを実感しました。また、邑久町ライフフォーラムの皆さんによる「いも煮のサービス」も大好評  
でした。



ポスター



山陽新聞（平成19年12月23日）

### 今後の課題と問題点

#### 1. 今後の課題

世界的な人形師竹田喜之助氏の作り出した人形の繊細な動き、技術、作り方を後世に継承していくことで  
す。

#### 2. 問題点

竹田喜之助氏の作り出した人形をまだまだ知らない方が多いので、しっかり啓発をして、糸操り人形劇が  
愛されるような作品作りを目指したいと思います。そのためには人形作りから操りまで一層喜之助さんに近  
づけるように努力すること、また後継者の確保、育成をしていかなければならないと思っています。

■執筆：岸野貞子

### 会のプロフィール

平成9年設立。劇団名は町花にちなんで命名。メンバーは7人。鈴木友子先生の指導を受け、人形づくりか  
ら脚本、衣装などメンバーが分担。平成14年には、プラハで初の海外公演。